

中学生防災通信ボランティア令和5年度第2回訓練

日時 令和5年12月3日(日)

午後2時00分～

場所 幡豆いきいきセンター

つつじホール

1 挨拶

2 第2回通信訓練の説明

- ・トランシーバについて説明
- ・訓練内容
 - ・避難所から土砂崩れ場所の説明を通話表を使って本部へ報告をする
 - ・自分の住所で土砂崩れがあったと想定する
 - ・場所の説明：メンバーの住所の西尾市〇〇町△△の内△△を通話表を使って行う

3 通信訓練実施

- ・各班(1～6班)に分かれて通信訓練実施

1班 つつじホール	2班 1F東側相談室隣
3班 ボランティアルーム	4班 正面玄関西のカウンター
5班 2Fロビー東	6班 3Fエレベータ前

- ・始めは奇数班を本部とし、偶数班が避難所とする。
次には奇数班を避難所とし、偶数班が本部とする。

4 その他

次回訓練 令和6年3月10日(日)(通信訓練、卒業生のユニフォーム返納)

記念集合写真

○ 通信訓練

トランシーバについて

- ・電力の大きなものを使用するのは無線従事者免許がいる
- ・免許のいないものは、電波の届く範囲がせまい。
- ・非常通信の場合は、生命が大切なので制限がない。

トランシーバによる通信

- ・片通話である。携帯電話と違う。糸電話と同じ。
- ・PTTボタンを押しながら話す。PTTボタンを離して聞く。
PTT(Push To Talk)
- ・「どうぞ」と「おわり」が必要

通信をするとき

- ・はっきり落ち着いて話す。
- ・すぐには聞きなおせないの、わからなかったところがあれば、そこを覚えておく。
- ・トランシーバは、なるべく縦に持つ(水平にしない)
- ・トランシーバのMIC部分に口を近づける(離すとエコーがかかったような声になる)
- ・一度に多く話さない。
- ・特に語尾をはっきり言う。また子音は伝わりにくいのではっきり言う。
- ・誰が誰と話しをしているかがわかること。
- ・訓練のときは、必ず「訓練」の言葉を使う。

訓練内容

避難所 「本部、本部、こちらは()避難所の()です。
感度いかがですか? どうぞ」

本部 「()さん、こちらは()です。
(感度の状況を伝える) どうぞ。」

- 感度の状況
- ・感度良好です。
 - ・少し雑音が入りますが、わかります。
 - ・雑音が多くて聞きづらいです。
 - ・ほとんど、了解できません。もう一度お願いします。

避難所 「()さん、それでは()避難所から、本部へ土砂崩れの^{どしやくず}報告がありますので、送っていいですか? どうぞ」

本部 「送ってください。どうぞ」

避難所 「訓練 こちらは、()避難所の()です。土砂崩れの場所は、
西尾市()町△△△で、(△△△を和文通話表を使って説明)
で、西尾市()町△△△です。

以上です。どうぞ」

地名 「

」

本部 「了解しました。復唱します。
訓練 土砂崩れの場所は、西尾市()町△△△です。

地名 「

」

これでいいですか? どうぞ」

避難所 「間違いありません。こちらは()避難所でした。おわり」

本部 「()さん 了解しました。おわり」

*参考 地名説明の例

東幡豆町池田の場合

「イケダで、いろはのイ、けしきのケ、たばこのタに濁点、イケダ」

別表第五号 通話表(第14条関係)

1 和文通話表

文字				
ア <small>あさひ</small> 朝日のア	イ いろはのイ	ウ <small>うえの</small> 上野のウ	エ <small>えいご</small> 英語のエ	オ <small>おおさか</small> 大阪のオ
カ <small>かわせ</small> 為替のカ	キ <small>きつて</small> 切手のキ	ク クラブのク	ケ <small>けしき</small> 景色のケ	コ <small>こども</small> 子供のコ
サ <small>さくら</small> 桜のサ	シ <small>しんぶん</small> 新聞のシ	ス すずめのス	セ <small>せかい</small> 世界のセ	ソ そろばんのソ
タ <small>たばこ</small> 煙草のタ	チ ちどりのチ	ツ つるかめのツ	テ <small>てがみ</small> 手紙のテ	ト <small>とうきょう</small> 東京のト
ナ <small>なごや</small> 名古屋のナ	ニ <small>にっぽん</small> 日本のニ	ヌ <small>ぬまず</small> 沼津のヌ	ネ ねずみのネ	ノ <small>のほら</small> 野原のノ
ハ はがきのハ	ヒ <small>ひこうき</small> 飛行機のヒ	フ <small>ふじさん</small> 富士山のフ	ヘ <small>へいわ</small> 平和のヘ	ホ <small>ほけん</small> 保険のホ
マ マツチのマ	ミ <small>みかさ</small> 三笠のミ	ム <small>むせん</small> 無線のム	メ 明治のメ	モ もみじのモ
ヤ <small>やまと</small> 大和のヤ	—	ユ <small>ゆみや</small> 弓矢のユ	—	ヨ <small>よしの</small> 吉野のヨ
ラ ラジオのラ	リ りんごのリ	ル るすいのル	レ れんげのレ	ロ ローマのロ
ワ わらびのワ	キ <small>き</small> むどのキ	—	エ かぎのあるエ	ヲ <small>をわり</small> 尾張のヲ
ン おしまいのン	ゝ <small>だくてん</small> 濁点	。 <small>はんだくてん</small> 半濁点		
数字				
一 <small>すうじ</small> 数字のひと	二 <small>すうじ</small> 数字のに	三 <small>すうじ</small> 数字のさん	四 <small>すうじ</small> 数字のよん	五 <small>すうじ</small> 数字のご
六 <small>すうじ</small> 数字のろく	七 <small>すうじ</small> 数字のなな	八 <small>すうじ</small> 数字のはち	九 <small>すうじ</small> 数字のきゅう	〇 <small>すうじ</small> 数字のまる
記号				
一 <small>ちようおん</small> 長音	、 <small>くぎりてん</small> 区切点	└ <small>だんらく</small> 段落	（ <small>したむきかつこ</small> 下向括弧	） <small>うわむきかつこ</small> 上向括弧

注 数字を送信する場合には、誤りを生ずるおそれがないと認めるときは、通常の発音による。(例「1500」は、「せんごひやく」とする。) か又は「数字の」の語を省略する(例「1500」は、「ひとごまるまる」とする。)ことができる。

「使用例」

- 「ア」は、「朝日あさひのア」と送る。
- 「バ」又は「パ」は、「はがきのハだくてんに濁点」又は「はがきのハはんだくてんに半濁点」と送る。